

【 就労にまつわる『思いこみ』あるある 】(南部)

『こころの元気+』4月号に就労について特集がありました。当事者の方や支援者に向けてのメッセージとして整理してみました。

1. 就労できる人と就労できない人は見て分かるか？

回答は『私には分かりません』でした。理由は、勤務する会社がどのようなもので、どのような支援があるかが分からないからです。

その人の症状が悪い状態でも、勤務する会社の仕事内容が比較的簡単な仕事で、且つ、支援が十分であれば続けることが出来ます。ですが、症状が軽い人でも仕事自身が厳しかったり支援が不十分な場合、続けることが難しいことがあるからです。

2. 就業のための事前準備をした方が就職しやすいか

これも思いこみであり、必ずしも事前準備が必要とは思いません。

勿論、ご本人が希望するなら事前準備をしても良いですが、必須ではありません。何故なら、就職条件は会社によって異なるからです。事前準備を沢山してもその会社に合った準備でないと無駄な場合があります。

3. 就労の前に訓練を受けなくてはならないか？

これも思いこみの一つです。訓練を希望される方は訓練を受けることも選択肢の一つですが、そのような希望が無い人は、すぐに就職活動をするのも良いと思います。

訓練は就職活動をしながらでも受けられますし、就労してから必要なスキルを身に付ける方法もあります。一般に、訓練の効果は実際に働きながら、必要なスキルを学ぶことで高まると言われています。個々の状況に合わせてのサポート即ち個別就労支援は、仕事が長く続くのに効果的と言われています。

もちろん、働くことが全てではありません。本当に就職が必要かをご家族とも考えながら、まずは生活のペースを食事、睡眠、友人・家族とのコミュニケーションを通して整えるのが基本になります。そして、働きたくなったら誰かに相談することからスタートしてください。

その際は、色々なサポートがありますので、それらのサポートを全て使うことを考えてください。そして、働くことは一つの通過点であり、働く目的も考えて自分らしく満足で幸せな生活を中心に考えてください。



明石ともしび会よりお知らせ

相談窓口	日時・内容			場所
こころやすらぐ ひろば (相談と居場所 です)	5月7日(日)	11時 ~15時	【昼食】検討中 担当：検討中	ふれあい作業所
	5月21日(日)		【昼食】検討中 担当：検討中	
こころの 相談窓口	5月8日(月) 5月22日(月)	10時~14時	担当：二本松、岩永	明石市立 勤労福祉会館 「あすく」

「こころの相談窓口」ご相談がある方は当日お越しください。(電話：090-1138-4777 岩永)

「こころやすらぐひろば」では、ネットでの相談もできます。メールアドレスは、

kokoro20218fureai@yahoo.co.jpです。(南部)